資料２

３　議題（３）「市民自治によるまちづくり」に関するＷＥＢアンケートについて

１　経緯

これまで千葉市市民自治推進会議（以下、「会議」という）においては、市民自治推進の実施状況（以下、「実施状況」という）に係る評価方法の方向性や今後の取組みについて検討を行ってきた。

その中で、「千葉市市民自治によるまちづくり条例」（以下、「条例」という）第４条には市民の役割に関する規定があり、市民の地域活動への主体的な取組みに関する意識などを知ることは、「千葉市市民自治推進のための実施計画・実施状況」に掲載される個別事業から見たものだけではなく、市民自治の推進状況を把握する上で重要なものであることから、マクロな視点から議論するための資料として、市民自治推進に係る市民の意識や活動等を調査することで現状及び経年変化を把握できる市民へのＷＥＢアンケートを令和６年度より継続的に実施したい旨お示しし、委員の皆様のご意見を伺いご承認を得たところである。

そして、令和６年度第１回会議（令和６年８月実施）において、アンケート設問項目（案）をお示しし、委員の皆様のご意見を伺いご承認を得た上で、令和６年度第８回（令和６年１１月）にＷＥＢアンケートを実施した。

２　ご意見をいただきたいこと

令和６年度のＷＥＢアンケート結果を報告するとともに、令和７年度実施に向けてアンケートの設問項目や実施方法についてご意見をいただきたい。

３　ＷＥＢアンケートについて

毎月１日から１０日まで、市ホームページを通して、市内在住・在勤・在学の方々を対象にアンケート調査を実施することにより、短期間で市民意見等を把握し、施策等の検討に役立てる制度で、年１２回程度（毎月１回、１回につき３～４テーマ、１テーマに付き最大７項目）実施している（事業所管課：総合政策局市長公室広報広聴課）。

４　市民自治によるまちづくりに関するＷＥＢアンケート結果（令和６年１１月実施）について

（１）回答者属性

回答者数	1,695 人

性別		
男性	791人	46.7%
女性	851人	50.2%
その他	10人	0.6%
未回答	339人	20.0%

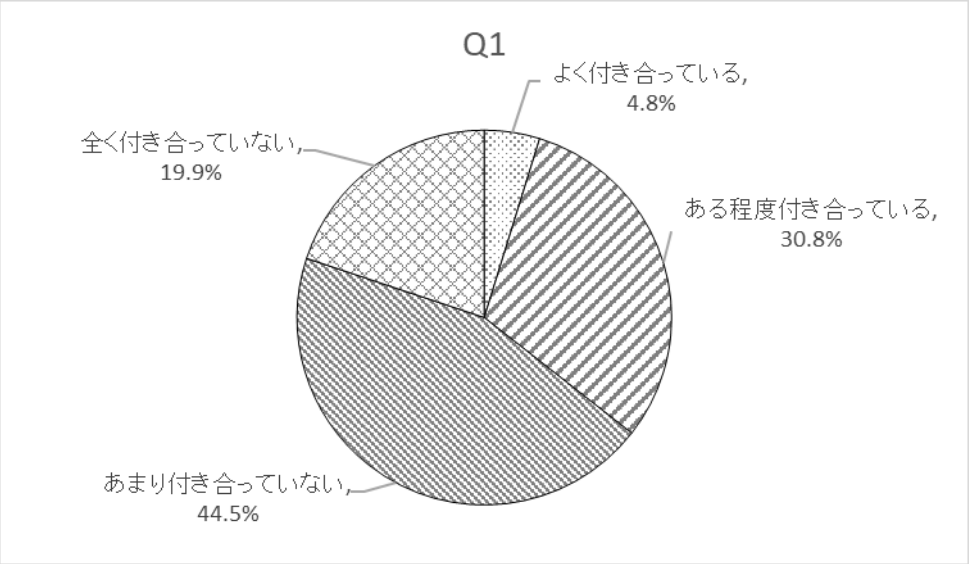
年代		
10代以下	34人	2.0%
20代	66人	3.9%
30代	147人	8.7%
40代	280人	16.5%
50代	454人	26.8%
60代	381人	22.5%
70代以上	333人	19.6%

職業		
会社員	504人	29.7%
自営・自由業	77人	4.5%
パート・アルバイト	321人	18.9%
公務員	98人	5.8%
学生	57人	3.4%
専業主婦・主夫	300人	17.7%
無職	293人	17.3%
その他	45人	2.7%

居住区		
中央区	301人	17.8%
花見川区	230人	13.6%
稲毛区	278人	16.4%
若葉区	136人	8.0%
緑区	236人	13.9%
美浜区	456人	26.9%
市内在勤・在学	58人	3.4%

（２）アンケート結果

Ｑ１：はじめに、「市民自治によるまちづくり」についてお聞きします。
あなたは、地域での付き合いをどの程度していますか。
（あてはまるもの１つ）
①よく付き合っている　②ある程度付き合っている
③あまり付き合っていない　④全く付き合っていない



（n＝1,695）

内容	回答数
よく付き合っている	81
ある程度付き合っている	522
あまり付き合っていない	755
全く付き合っていない	337

「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」とする回答は約３５％にとどまった。

なお、内閣府が令和６年１０月に実施した世論調査の中で同様の設問があるが、「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」とする回答は約５４％となっており、今回の結果はそれを下回るものとなった。

Ｑ２：市政への市民参加の手続に関するもので、あなたが参加したことのあるものは何ですか。

（複数回答可）

①パブリックコメント手続や意見募集における意見の提出

②審議会等の附属機関の公募委員への応募

③ワークショップ（市民と市職員又は市民同士が議論や作業を重ねながら意見をまとめていく会合）への参加

④意見交換会（市民と市職員又は市民同士が市の施策について意見を交換する手続）への参加

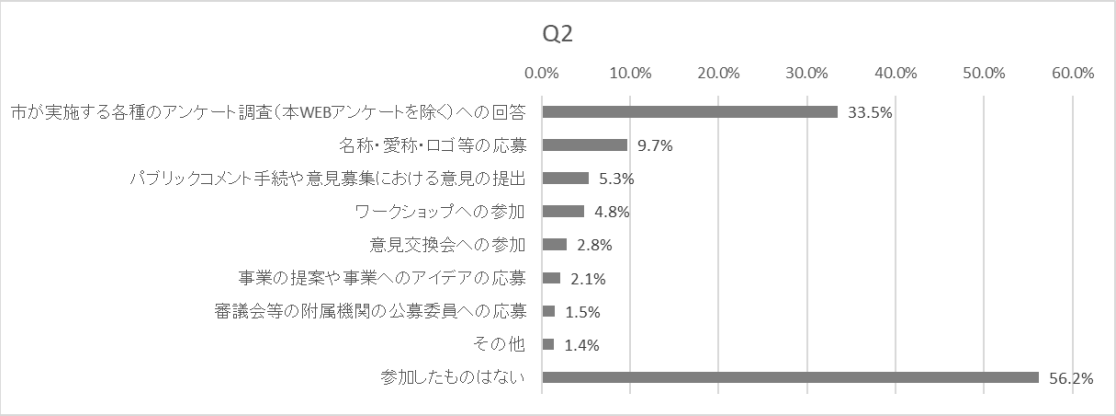
⑤市が実施する各種のアンケート調査（本ＷＥＢアンケートを除く）への回答

⑥事業の提案や事業へのアイデアの応募

⑦名称・愛称・ロゴ等の応募

⑧その他　※自由記述、３０字以内。

⑨参加したものはない



（n＝1,695）

内容	回答数
市が実施する各種のアンケート調査（本WEBアンケートを除く）への回答	567
名称・愛称・ロゴ等の応募	164
パブリックコメント手続や意見募集における意見の提出	90
ワークショップへの参加	82
意見交換会への参加	48
事業の提案や事業へのアイデアの応募	36
審議会等の附属機関の公募委員への応募	26
その他	24
参加したものはない	953

その他　主な意見：

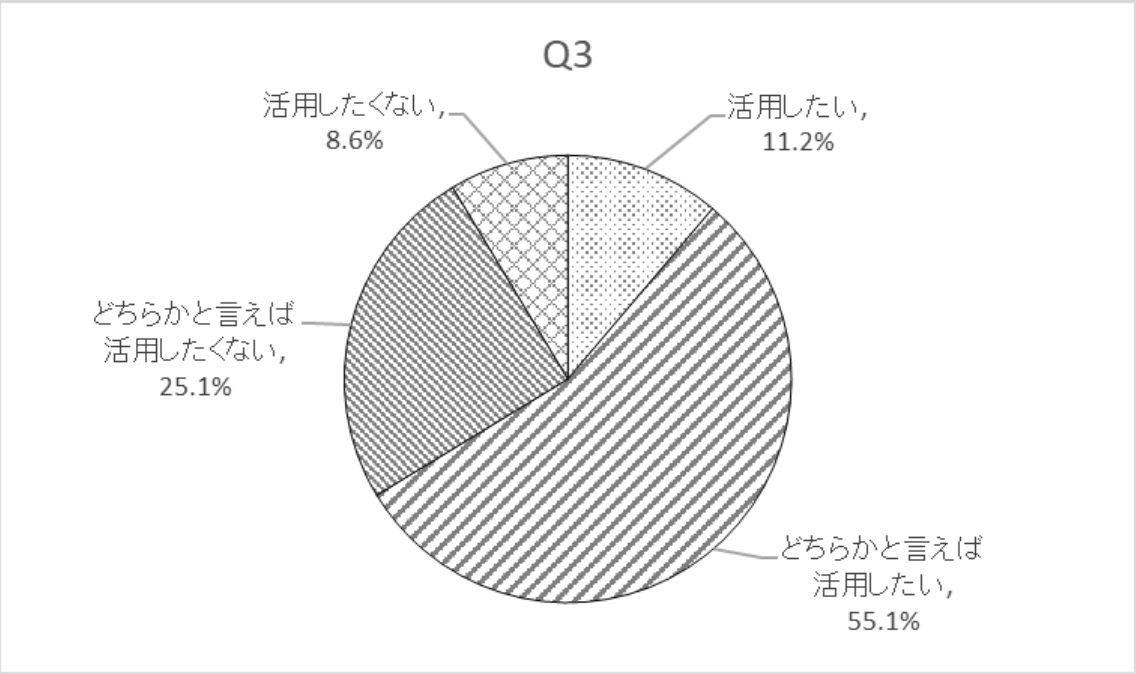
・市長への手紙

・ちばレポ　　など

一番多い回答は「アンケート調査への回答」（33.5%）であったが、次いで回答の多い「名称・愛称・ロゴ等の応募」を含む他の回答についてはいずれも１割未満であった。

また、「参加したものはない」との回答が５割を上回った。

Ｑ３：Ｑ２のような、市政への市民参加の手続を活用したいですか。
（あてはまるもの１つ）
①活用したい　　②どちらかと言えば活用したい
③どちらかと言えば活用したくない　　④活用したくない



（n＝1,695）

内容	回答数
活用したい	190
どちらかと言えば活用したい	934
どちらかと言えば活用したくない	425
活用したくない	146

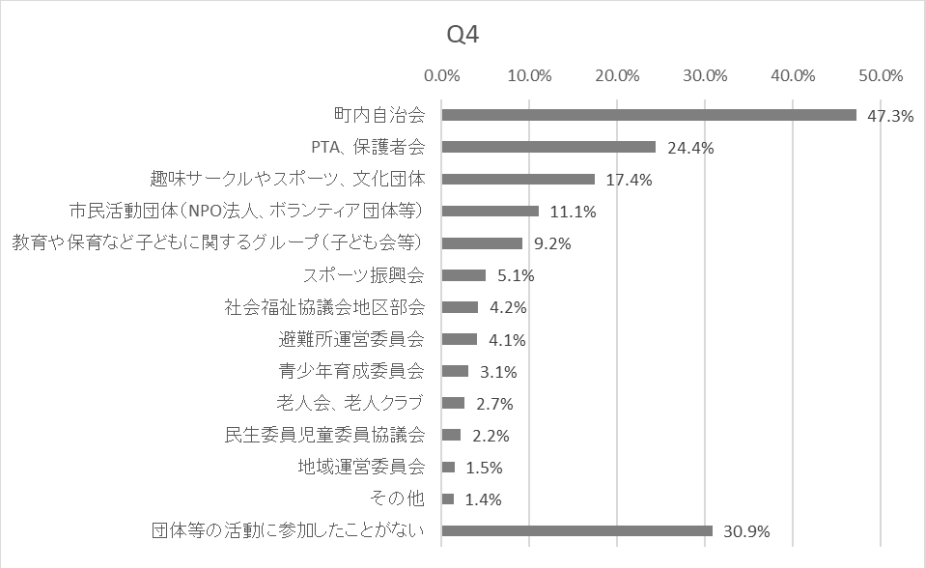
Ｑ２において、市政への市民参加手続について「参加したものはない」とした回答が５割を上回った一方で、市民参加手続の活用意欲を問う当設問においては、「活用したい」「どちらかと言えば活用したい」とした回答が合わせて６割を上回り、「参加したものはない」とした回答者の中にも活用の意欲がある者が一定程度存在することが分かった。

Ｑ４：まちづくりに関わる活動を行う団体等の中で、あなたがその活動に参加(※)した経験があるものは何ですか。

※団体の会員やボランティアとしての参加を指す（団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄附などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加等は除く）。

（複数回答可）

①町内自治会　②市民活動団体（ＮＰＯ法人･ボランティア団体等）
③地域運営委員会　④民生委員児童委員協議会
⑤社会福祉協議会地区部会　⑥青少年育成委員会
⑦スポーツ振興会　⑧避難所運営委員会
⑨教育や保育など子どもに関するグループ（子ども会等）
⑩趣味サークルやスポーツ、文化団体　⑪老人会、老人クラブ
⑫ＰＴＡ、保護者会　⑬その他　※自由記述、３０字以内。
⑭団体等の活動に参加したことがない



（n＝1,695）

内容	回答数
町内自治会	801
PTA、保護者会	414
趣味サークルやスポーツ、文化団体	295
市民活動団体（NPO法人、ボランティア団体等）	188
教育や保育など子どもに関するグループ（子ども会等）	156
スポーツ振興会	86
社会福祉協議会地区部会	71
避難所運営委員会	69
青少年育成委員会	52
老人会、老人クラブ	45
民生委員児童委員協議会	37
地域運営委員会	25
その他	23
団体等の活動に参加したことがない	523

その他　主な回答：
・セーフティウォッチャー
・消防団
・ボーイスカウト　など

参加した経験のある団体等の中で、一番多い回答は「町内自治会」（47.3%）、次いで「PTA、保護者会」（24.4%）となった。

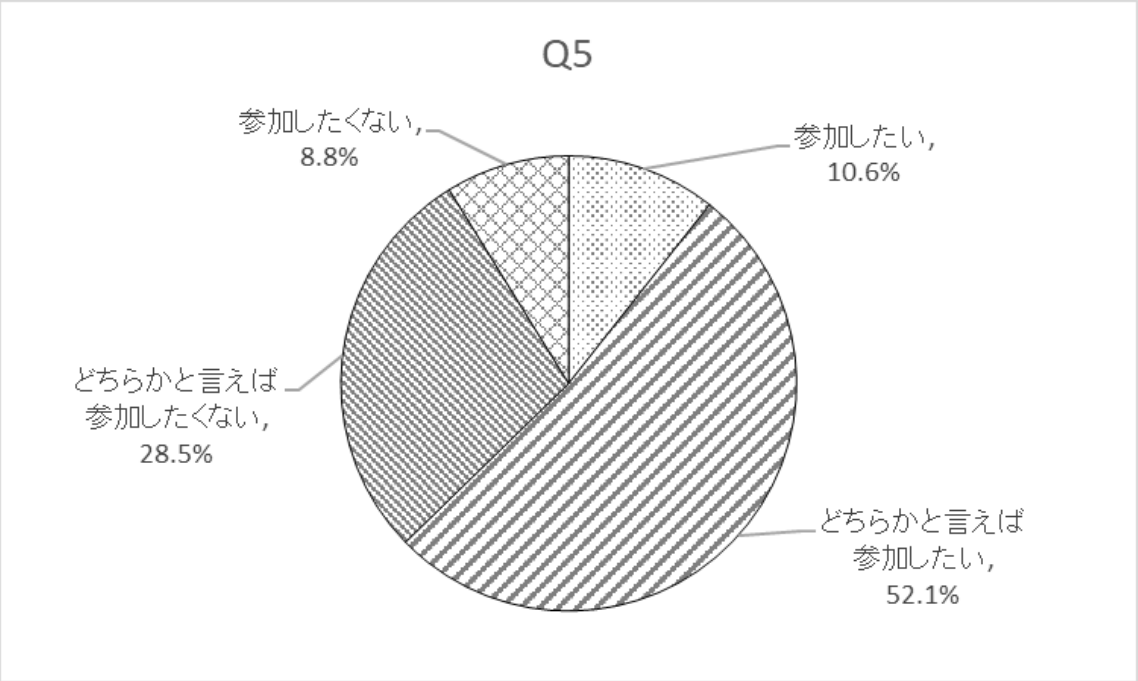
一方で「団体等の活動に参加したことがない」とした回答が約３割となった。

Ｑ５：あなたは、社会の課題の解決を図り、より住みやすい社会を形成するため、積極的にまちづくりに関わる活動に参加したいですか。ご家庭やお仕事の事情等は考慮せずにお答えください。

（あてはまるもの１つ）

①参加したい　　②どちらかと言えば参加したい

③どちらかと言えば参加したくない　　④参加したくない



（n＝1,695）

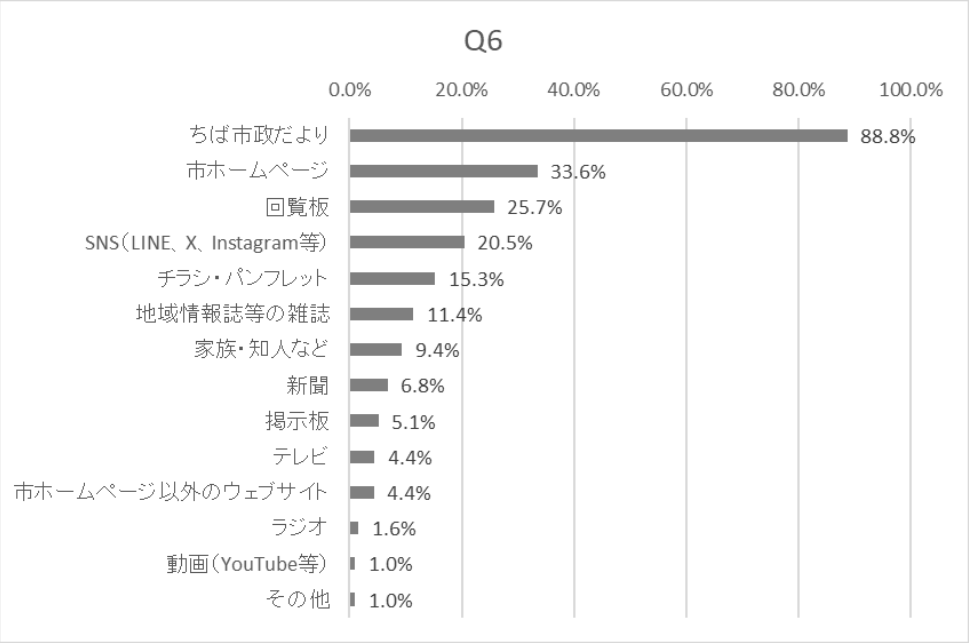
内容	回答数
参加したい	180
どちらかと言えば参加したい	883
どちらかと言えば参加したくない	483
参加したくない	149

「参加したい」「どちらかと言えば参加したい」とした回答が合わせて６割を上回った。

Ｑ６：市の事業や地域の活動・イベントの情報を得るために、主にどのような媒体等を使用していますか。

（複数回答可）

①ちば市政だより　②回覧板　③掲示板　④市ホームページ
⑤市ホームページ以外のウェブサイト　⑥ＳＮＳ（LINE、X、Instagram 等）
⑦動画（YouTube 等）　⑧テレビ　⑧ラジオ　⑨新聞
⑩地域情報誌等の雑誌　⑪チラシ・パンフレット　⑫家族・知人など
⑬その他　※自由記述、３０字以内。



（n＝1,695）

内容	回答数
ちば市政だより	1505
市ホームページ	569
回覧板	436
SNS（LINE、X、Instagram等）	347
チラシ・パンフレット	259
地域情報誌等の雑誌	193
家族・知人など	159
新聞	116
掲示板	87
テレビ	75
市ホームページ以外のウェブサイト	74
ラジオ	27
動画（YouTube等）	17
その他	17

その他　主な回答：
・子どもが通う学校から配布されたチラシ
・あんしんケアセンターからの情報
・ちばシティポイントアプリ
・メールマガジン　など

一番多い回答は「ちば市政だより」（88.8%）であり、回答者の大半が「ちば市政だより」から市の事業等の情報を得ていることが分かった。次いで「市ホームページ」（33.6%）、「回覧板」（25.7%）の回答が多かった。

Ｑ７：まちづくりに関わる市民の活動を盛んにするために行政や民間企業等が実施する方策のうち、特に必要だと思うものは何ですか。

（特にあてはまるもの最大３つまで）

①市民活動を行う個人や団体への金銭的支援

②市民活動を行う場所の支援

③市民活動に役立つ情報の発信

④市民活動を行う個人や団体への相談体制

⑤市民活動団体の交流会の実施

⑥まちづくりに関わる活動の活動紹介・普及活動

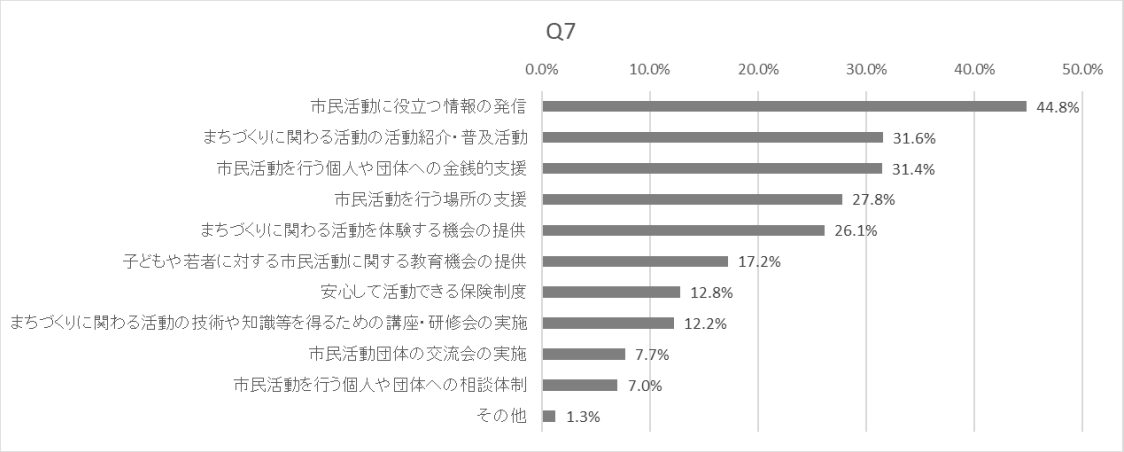
⑦まちづくりに関わる活動を体験する機会の提供

⑧まちづくりに関わる活動の技術や知識等を得るための講座・研修会の実施

⑨安心して活動できる保険制度

⑩子どもや若者に対する市民活動に関する教育機会の提供

⑪その他　※自由記述、３０字以内。



（n＝1,695）

内容	回答数
市民活動に役立つ情報の発信	760
まちづくりに関わる活動の活動紹介・普及活動	535
市民活動を行う個人や団体への金銭的支援	533
市民活動を行う場所の支援	471
まちづくりに関わる活動を体験する機会の提供	443
子どもや若者に対する市民活動に関する教育機会の提供	292
安心して活動できる保険制度	217
まちづくりに関わる活動の技術や知識等を得るための講座・研修会の実施	207
市民活動団体の交流会の実施	131
市民活動を行う個人や団体への相談体制	119
その他	22

その他　主な意見：

・小さい子がいても気軽に参加できそうな活動。

・参加できるような就労条件　　など

一番多い回答は「市民活動に役立つ情報の発信」（44.8％）、次いで「まちづくりに関わる活動の活動紹介・普及活動」（31.6％）となり、市民活動やまちづくりに関する情報提供を求める回答が多いことが分かった。

一方で、「市民活動を行う個人や団体への相談体制」（7.0％）、「市民活動団体の交流会の実施」（7.7％）が他の回答と比較すると回答率が低かった。

５　次回以降のＷＥＢアンケートの実施について

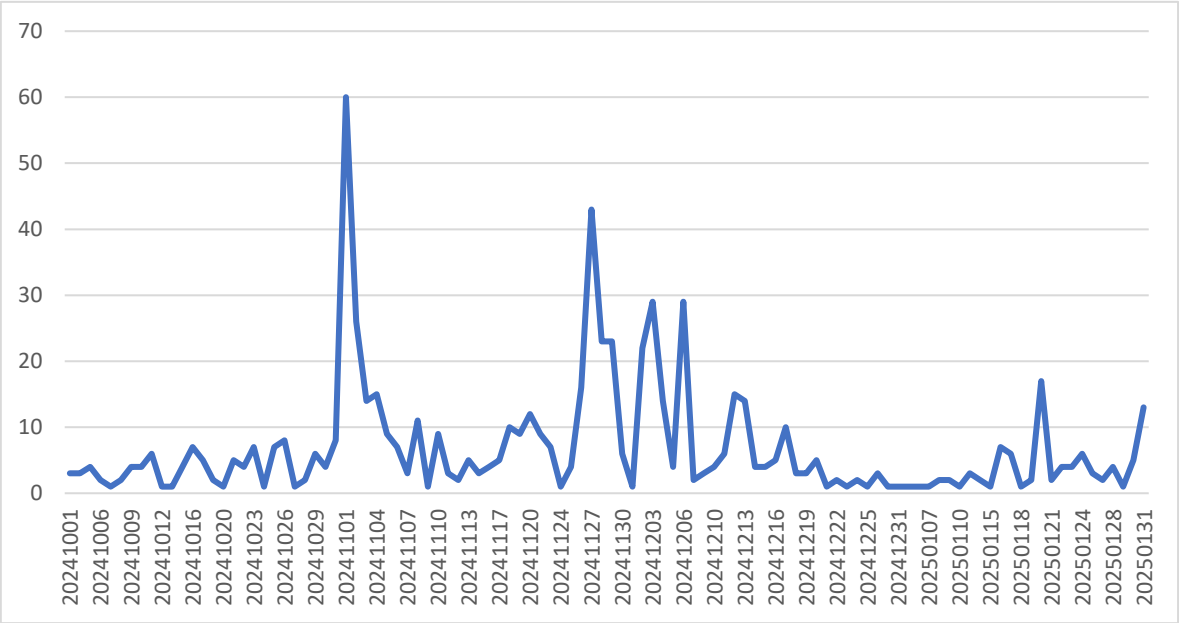
市民自治推進に係る市民の意識や活動等の現状及び経年変化を把握できる市民へのＷＥＢアンケートは、市民自治の推進状況を把握する上でマクロな視点から議論するための重要な資料である。また、ＷＥＢアンケート冒頭には「「千葉市市民自治によるまちづくり条例」では市民自治によるまちづくりに関する基本ルールを定めています。市民の皆様から市政の市民参加の手続やまちづくりに関わる活動等に関する状況や意識についてお聞かせいただき、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。」というリード文とともに、まちづくり条例の市のウェブサイトへのリンクがあることから、市民への条例の啓発効果もあると考えられる。よって、令和７年度以降も同設問にて継続的に実施することとしたい。

なお、次回のＷＥＢアンケートについて、事務局にて令和７年度第９回（令和７年１２月）での実施分にエントリーしており、想定されるスケジュールは以下のとおりである。

＜スケジュール＞

令和７年１０月１０日（金）	広報広聴課へのアンケート項目提出期限
１２月　１日（月）	アンケート開始
１２月１０日（水）	アンケート終了
令和８年　３月	令和７年度第２回会議にて結果報告

＜まちづくり条例ウェブサイトへのアクセス数＞



○アクセス件数増加要因

11/1～10	ＷＥＢアンケート回答期間
11/27	推進会議公募委員募集に関して、ＮＰＯ法人メールマガジンで配信
12/2～20	推進会議公募委員募集期間延長
12/4	推進会議公募委員募集に関して、町内自治会メールマガジンで配信